

あゆみ

特集
C型慢性肝炎



年頭のご挨拶

「謙虚に学び、感謝の心を持ち続ける」

公益財団法人 会田病院

理事長・院長 会田 征彦



新年あけましておめでとうございます。

初代院長 会田道之助が明治38年に診療所を開設して115年、そして1946年(昭和21年)に東北初の民間による肺結核外科療法専門病院を開設以来、多くの先人達の努力の積み重ねに加え、地域の人達に支えられて75年目を迎えた今日の姿がある事に心から感謝申し上げます。開設者が掲げ灯した全人的医療の信念を守り、病に苦しみ救いを求める人々の心に寄り添う診療を継続することで培うことの出来た地域に於ける信頼は、何より価値のある私達の財産であり、これからも更にこれを育てながら、期待される病院づくりに専心努力することが求められております。

公益財団法人 会田病院の基本理念である「患者満足度の高い良質な医療を安全に提供できる病院づくりに努め、地域社会に貢献する」ために、今年度の目標を次に示します。

1. 患者の病態を正しく把握できる医学的基礎知識を身につけ変化にすばやく対応できる能力を獲得する

2. 良質な医療を安全に効率よく提供できる体制の確立

- ・医師、コメディカルをはじめ、全職員の資質向上と教育・指導の徹底
- ・わかり易い診療録作成
- ・地域包括ケアシステム推進のための病病・病診連携充実

3. チームアイダひとり一人の人間力向上対策

- ・社会人としての礼儀・マナーを学び、感謝の気持ちを表現できる人を目指す
- ・傾聴する力を培い、謙虚で感謝の心を持つ人（心豊かな人間性）を目指す
- ・同僚への思いやりといたわりの心を養う
- ・状況判断のできるスキルを養う

4. 経営基盤の確立

- ・働きやすい環境整備
- ・職員満足度向上対策

5. 病院内各部門の横断的連携強化によるチーム医療の推進

6. 危機管理体制強化

- ・災害に強い体制整備
- ・感染対策強化

昨年は国内外を問わず新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、日常の生活様式を変えて感染症拡大への備えを私達一人ひとりに実行する事が求められております。

トップを極めた伝説のアスリート達から発する言葉は、常に謙虚である事、そして日々学ぶことのできる周囲に感謝する事を忘れずに目標を持ち続け努力すれば夢は叶えられる。心に響いた一節でした。

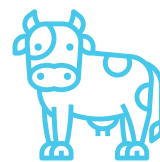
信頼される確かな医療を行うには、職員一人ひとりの資質向上と、各部門のリーダーを中心とした強いチーム力が欠かすことのない二大要素です。

医療にたずさわる人に求められる心構えは、医の原点を見据え研鑽を積んで医学的基礎知識を学び、常に謙虚で感謝の気持ちを忘れることなく、人の為になる事を仕事としている日々の姿に誇りを持ち続ける必要があります。

深い悲しみや苦しみを抱えている人に対して、医師をはじめ病院スタッフが、わが親兄弟を思いやるような気持ちで接することで医療人としての品格をみがき、それぞれの役割と責任を果たしながら日々の業務を実施していけば、明るく人々に愛される病院の未来は、約束されると確信いたします。



新年のご挨拶



副院長
星野正美

あけましておめでとうございます。
昨年発症したCOVID-19は現在感染が拡大し今まで少なかった福島県においても急速に患者数が増大しております。その背景には長期になってきた行動の自粛や制限からの逃避や緩みがあるものと思われま。しかし今まで人類は何度もパンデミックに曝されましたが打ち勝ってきた歴史があり今回もできるものと信じています。今年の冬が山場と思っていますが、最近県内の病院でも入院した急患からのクラスターが散見されるようになってきていますので当院の感染対策指針に則って十分に注意し、自分並びに周囲へ感染を広げないよう気を付けて診療にあたられるようお願いいたします。最後に本年の皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



副院長
河野知典

今年も新年のあいさつを申し上げます。毎年50年に1度の災害がどこかで発生しておりますが、皆様もご存じのように昨年は新型コロナ肺炎により世界中がかつてない災禍に見舞われ、そして今もなお現在進行形で続いております。見えない禍が人々に不安や恐怖を生み、偏見や差別で傷つけあうのは悲しい事にございます。ところで昨年の小学生が選んだ「今年の漢字」は「笑」「幸」「新」だそうで、子供たちの前向きな姿勢には我々大人も見習わなければと感銘を受けました。ともあれ今年も皆様が心に不安なく御健康に過ごされますよう、心よりお祈りいたします。



副院長
小池 荘介

「明けましておめでとうございます。暦や手帳が新しくなり、年初は心もまた何かしら良き事を期待して、晴ればれとなります」と例年ならごあいさつするところですが、今年は違います。いろいろな事が激変した昨年のCOVID-19の影響が残る年初となりました。未だ「withコロナ時代」における医療サービスのあり方の議論も十分になされていません。今年はこのコロナ禍の大きな潮流の中で、今後を見据えた対応案を思索し講じていく必要があるものと思います。今年もよろしくお願い致します。



事務部長
横張 恵美子

新年あけましておめでとうございます。
昨年は世界的なコロナ禍により、医療界はもとより、社会経済や日常生活など大きな変化があった2020年でございました。今年は、ソフトバンク会長孫正義氏の言葉「前向きに悩む事。それが成長の第一歩。」をモットーに、withコロナ時代に対応すべく、変化を前向きに捉え、そして進化を目指し、公私ともに一歩ずつ前進して参りたいと思います。皆様にとって希望に溢れる一年となりますよう心からお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。



看護部長
鈴木 洋子

あけましておめでとうございます。
新年を迎え、皆様にとりましても公私ともに良い年になることを切に願っております。新型コロナウイルス感染症の終息が見込まれない中、現在も各医療機関では対応に追われています。先日ネットで見つけました。「コ」「ロ」「ナ」を組み合わせると「君」になる。今、コロナ禍だからこそお互いが「君」(相手)の気持ちを一層深く考えなければなりません。「君」は患者さんであり仕事の仲間であり家族や友人など自身の周りで支えてくれる様々な人です。そしてどんなことでも「あたりまえ」ではなく反対語の「ありがたし(ありがたう:感謝)」を忘れずいつまでも成長し続けたいと願います。本年もどうぞよろしくお願い致します。



副院長
会田 北斗

皆様にとって2021年が楽しい一年であることを願っています。
生きていれば、楽しい時もあればつらい時もあると思います。その中で精神を健全に保つには「①運動②睡眠③人とのかかわり」が大事だと言われています。私も時間を見つけては、軽いジョギングなど、できる範囲での運動を心がけ、たまに大池公園のまわりなど這いつくばっています。クマ出没情報も耳に入り、温かくなったらクマよけの鈴でもぶら下げて走ろうか、などと考えています。皆様がどうか充実した一年を過ごせるよう、心から願っております。お手伝いできれば幸いです。困ったことがあればご相談ください。

特集 C型慢性肝炎

消化器内科 笠井美孝 医師

診察日 / 毎週火曜・木曜（月1回休診）・土曜

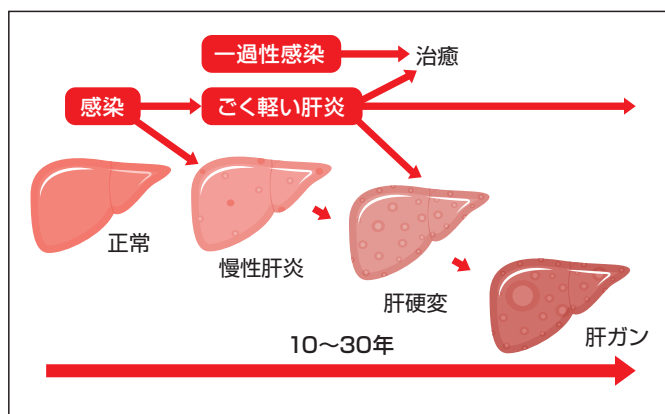
受付時間 / 8:00～11:30（木曜・土曜）

13:00～16:30（火曜）

C型慢性肝炎とは

昨年は新型コロナウイルスの影響で世界中が大変な年となってしまうため、例年と比べてノーベル医学・生理学賞がニュースで取り上げられる機会は少なかつたように思いましたが、C型肝炎ウイルス（HCV）発見の功績を称え、海外の3人の先生が受賞されました。

C型肝炎肝炎はHCVが肝臓に持続感染し、炎症を起こす疾患です。厚生労働省の肝炎ウイルス検診及び献血から推定されるHCV抗体陽性率は全人口の0.6%、約80万人とされています。



これに現在C型肝炎肝疾患で医療機関に通院中の人、HCVに感染しているものの医療機関に通院していない人を加えると100～150万人になると推定されます。最近では減少傾向ですが、わが国の慢性肝疾患（慢性肝炎、肝硬変、肝細胞癌）の約7割がHCV感染に起因すると言われていています。

感染経路

HCV の感染経路としては、感染しているヒトの血液を用いた輸血、血液製剤や汚染された注射器や注射針による医療行為などが考えられます。現在では輸血、血液製剤は高い精度のウイルスチェックが行われており、医療行為の際に使用する注射器や注射針などは単回使用としています。そのため、こうした経路から感染することはほぼ無くなりました。一方、覚醒剤の使用、刺青を彫る、消毒が不十分な器具を用いてピアスの穴を開けるなどの行為は現在でも HCV の感染経路として考えられます。また、他人の血液に直接触れるなどしなければ、家庭内感染や集団内感染の恐れもありません。



覚せい剤を打つなど
注射器の使いまわし



入れ墨を彫る



十分に消毒されていない
器具を使ってピアスの
穴をあける

診断



C 型慢性肝炎は自覚症状に乏しいため、血液検査の異常が診断のきっかけとなることが多くなっています。血液中の HCV 抗体が陽性となった方の中には、以前に既に治療を受けていて HCV が排除されている方、HCV が自然に消失している方も含まれます。これらの場合は現在感染していないと考えますので、特に治療の必要性はありません。現在も感染しているかどうかの確定診断として HCV RNA の測定を行い、これが検出されれば現在も HCV に感染していると考えます。さらに画像検査（腹部超音波検査など）などを追加していき、HCV に対する治療を準備していきます。

治療目標

C 型慢性肝炎の治療目標は、ウイルスの排除と肝硬変や肝細胞癌への進展を阻止することです。ウイルス排除の治療として、今から約 30 年前にインターフェロンを用いた治療が始まりました。皮下注射で 24-48 週間投与を行う治療ですが、インターフェロン単独での初期の奏効率は数 % と言われ、投与中に間質性肺炎、うつといったインターフェロンの副作用が出現することも指摘されていました。併用薬や投与期間の変更などで徐々に奏効率は改善していき約 50-60% まで上昇しましたが、治療を完全に終了したにも関わらずウイルスを排除できなかった方、副作用の影響で残念ながら治療を中断せざるを得なかった方が多数いらっしゃいました。



奏効率とは

がん治療法を患者に用いた際、その治療を実施した後にがん細胞が縮小もしくは消滅した患者の割合を示したものの。治療の効果を判定する際に用いられます。奏効率 20% 以上の場合に効果があるとされています。

新しい治療が登場



2014 年からインターフェロンフリー、つまりインターフェロンを使用しない直接型抗ウイルス薬 (DAA) という内服薬による新しい治療が登場しました。既存の治療でうまくいかなかった方だけでなく、HCV 感染を指摘されていたにも関わらずこれまで全く未治療であった方も対象に治療が開始されました。現時点で投与期間は最短の場合 8 週間、奏効率も 90% を超えています。今では初回治療、再治療ともインターフェロンフリー治療が推奨されるようになりました。DAA は薬剤の値段が非常に高額となるため医療費負担を軽減するための公的な助成制度があり、所得に応じて異なりますが最大で月額 2 万円までの自己負担で治療を受けることが可能となります。お住まいの市区町村で申請を行うと、認可されれば通常は約 2 ヶ月程度で助成の準備が整います。

最後に

HCV が最終的に排除できているかどうかは、抗ウイルス療法終了後 24 週時点での HCV 陰性化を確認することで判定します。判定の結果 HCV が排除されていても長期的に見ていくと肝臓で発癌する危険性があると言われています。そのため、定期的な通院をしていただき血液検査や画像検査で経過観察をしていく必要があります。

健康診断や献血の際の血液検査で HCV 抗体陽性と指摘されている方がいらしたら、ぜひ一度外来を受診して下さい。

肝炎医療コーディネーターをご存知でしょうか？



肝炎医療コーディネーターとは？

身近な地域あるいは病院等に配置されている肝炎対策の担当者のことです。主に医師や看護師、薬剤師などの医療関係者や保健師、市町村の職員などの行政機関関係者などがコーディネーターとして活動しています。

肝炎医療コーディネーターの基本的な役割とは？

肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、検診や受診の推奨、制度の説明などを行っています。

また、身近な地域や職域で肝炎医療コーディネーターが活動し、肝炎への理解を社会に広げる基盤が醸成されることにより、肝炎患者への差別や偏見の解消に繋がることも期待されています。

現在、福島県では検査を受けていないために感染していることを知らない人が B 型肝炎で約 7,200 人、C 型肝炎で約 4,400 人と推定されています。また、陽性者なのに継続して治療を受けていない人が B 型肝炎で約 4,100 ～ 6,400 人、C 型肝炎で約 3,700 ～ 11,000 人と推定されています。

肝臓は沈黙の臓器と言われており、悪化してからでは治療が難しいとされています。肝炎になっていても自覚症状はほとんどなく、個人差はありますが、気づかないまま肝硬変や肝がんなどに病気が進行してしまうこともあります。

当院にも肝炎医療コーディネーターがおります。肝炎はじめ肝疾患で悩んでいる人を支援していきたいと思っていますので、お気軽にご相談ください。

学校保健会表彰状

当院理事長 会田征彦が福島県学校保健会より表彰されました。



献血

10月28日、会田病院病棟東側駐車場にて献血活動を行いました。今回は新型コロナ感染拡大を防ぐため、手指消毒をはじめ、一度に行う受付の人数制限を行うなど感染予防を徹底しました。献血に参加していただいた職員は14名でした。寒い中にも関わらず、ご協力ありがとうございました。



トルコキキョウを頂きました

10月20日に猪苗代町から「新型コロナウイルスの感染リスクの中、日々奮闘している医療従事者の皆様へ敬意と感謝をこめて」という事で猪苗代町長前後様より励ましのお言葉と猪苗代町産の素敵なトルコキキョウを頂きました。

猪苗代町長 前後 公様並びに猪苗代町民の皆様、ありがとうございました。



業務資質向上研究会

患者サービスの向上・各種質改善に向けた取り組みを報告する「2019年度業務資質向上研究会」は、今年度で4回目を迎え59演題の中より4演題が選出されました。感染対策を考慮し、口演発表を各部署で視聴する初の動画配信を行いました。例年のような活発な質問や意見交換はできませんでしたが、より多くの職員が視聴でき、学べた事については試みた甲斐がありました。今後も医療・業務の質改善に繋がるよう継続的な改善活動を行っていききたいと思います。



認知症サポーター養成講座

会田病院は職員全員の認知症サポーター養成を進めてきました。今年度も新入職員が養成講座に参加し、認知症を正しく理解して、サポーターとしてこれから自分ができることをそれぞれが考える機会になりました。



ご寄附のお願い

当法人の活動に対しご理解とご賛同をいただき、ご支援を賜りたく存じます。

寄附金には、税法上の優遇措置が適用されます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

[ホームページ]

<http://aida-hp.or.jp/aboutus/donation/>



2020年度永年勤続表彰式

1月4日、「2020年度永年勤続表彰式」を行いました。勤続20年5名、10年22名の対象者へ、会田理事長より賞状と記念品が授与されました。



HAPPY HALLOWEEN

行事食紹介

お品
書き

・ロールパン
・パンプキンスープ
・ハロウィンチキンサラダ
・秋のフルーツ盛り合わせ

ハロウィンは、日本でいうとお盆にあたるもので、秋の収穫をお祝いし先祖の霊をお迎えするとともに悪霊を追い払うお祭りです。当院ではハロウィンを連想させるような南瓜を使ったスープを提供し、普段の和食とは異なった洋風なメニューを楽しんで頂きました。デザートは旬の柿とぶどうを使用し秋の収穫祭のようににぎやかな献立内容としました。

患者様からは「パンプキンスープが温かくて美味しかった。」

「おしゃれなサラダで外出した気分になった。」と感想を頂きました。

1日5分、身体喜ぶ贅沢タイム

お仕事や家事等どんな場面でも必ず使われる手ですが、
労わってあげる事は忘れがち。

指や手のひらのストレッチを行うことでリンパの流れが良くなりむくみの解消にもつながります。血の巡りが悪くなってしまうと”ばね指”や親指の”関節症”に繋がってしまう事も…年末年始で沢山活躍したであろう手を一緒に労わってあげましょう！

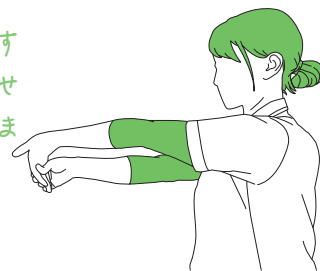


作業療法士

指・手のひらストレッチ

指全体のストレッチ

- ①手のひらを上にむけた状態で腕を前に伸ばします。
- ②もう一方の手で4本の指を握ります
- ③息を吐きながら4本の指を引き寄せ指と手のひらを伸ばし、そのまま15～30秒キープします。
- ④状態に合わせながら①～③を何度か行いましょう



指の関節ストレッチ



- ①机の上に手のひらを下になるように置きます
- ②もう一方の手の親指と人差し指で伸ばしたい指の先をつまみます
- ③指が反るように第一関節、第二関節と場所をずらし伸ばしてみましょう

AIDA no HITO



絶えない笑顔

当院のリハビリテーション科は、入院、外来、通所、訪問のチームに分かれており、現在は43名の職員が在籍しています。私は入院のチームで入院中の患者様に対してリハビリを行っています。

私自身、患者様と信頼関係を築き、目標を実現できるよう笑顔や言葉遣いに気を付けて接するように心がけています。それは、私たちスタッフの言動や立ち居振る舞いが患者様のモチベーションに大きく関係しているからです。中には運動が苦手な方もいます。そのような方でも少しでも楽しくリハビリが行えるように患者様一人ひとりに合わせたプログラムを作成し、リハビリを行っています。楽しいリハビリを心がけているので、リハビリ室は笑顔が絶えず明

リハビリテーション科

理学療法士 川合 悠斗

るい雰囲気となっています。

理学療法士として地域の方と関わり、リハビリができることを幸せに感じます。今後もみなさまが健康で安心した生活を送れるように、リハビリや地域活動を通して手助けできたらと考えています。今後ともよろしく願っています。

🔍 スタッフ募集中

共に働くスタッフを募集しています。地域に根ざし、愛され、心が通う病院づくりに積極的に取り組み、地域社会に貢献したいと思っています。募集内容は当院ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】人事・経理課

【電話】0248-42-2121

【メールアドレス】ahp@aida-hp.or.jp

【ホームページ】

<http://aida-hp.or.jp/recruit/>



連携機関探訪

医療法人健昭会 つむらやクリニック

はじめまして、つむらやクリニックの円谷昭市と申します。縁あって鏡石町（旧国道沿い）に20年前、整形外科（外傷・変性疾患・スポーツ・リウマチ・骨粗鬆症）専門医として開院いたしました。今では地域特性もあり専門外の患者さんも多く診るようになっていきます。

私は、矢吹町（中畑）で生まれ育ったこともあり、会田病院さんには子供の頃から大変お世話になりました。そして開院してからは、入院治療が必要な患者さんや専門医療が必要な患者さんに対しても、日頃から迅速に対応していただき大変感謝しております。

今後も、病診連携につとめかかりつけ医としての役割を果たし、微力ではありますが地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、会田病院さんにはますます何かとお世話になることと思っておりますので今後ともよろしく申し上げます。



INFORMATION

診療科目	内科・リウマチ科・外科・整形外科・リハビリテーション科						
所在地	963-0401 岩瀬郡鏡石町鏡沼189-2						
連絡先	TEL 0248-62-1616 FAX 0248-62-1618						
診療時間 休診日：日・祝	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	
13:00～15:00						●	
14:00～18:00	●	●		●	●		





会田病院の理念

かけがえのない、ひとり一人の命と
健康を守るために、最良の医療を提供し、
保健・医療・介護・福祉の充実をはかり、
地域社会に貢献します。

公益財団法人 会田病院

理事長 会田 征彦

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地

☎ **0248-42-2121**

FAX 0248-42-2348 WEB aida-hp.or.jp



併設 健診センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
TEL 0248-42-3592 FAX 0248-42-2226

併設 すみれ訪問看護ステーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-44-2566 (FAX兼)

併設 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-5407 (FAX兼)

併設 すみれ介護相談センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-3755 FAX 0248-42-3781

併設 会田通所リハビリテーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町260番地
TEL 0248-42-2260 FAX 0248-42-2135



無料送迎バスのご案内

会田病院では、ご自宅と病院を無料でつなぐ送迎バスを運行しています。ご予約は下記までお気軽にお電話ください。

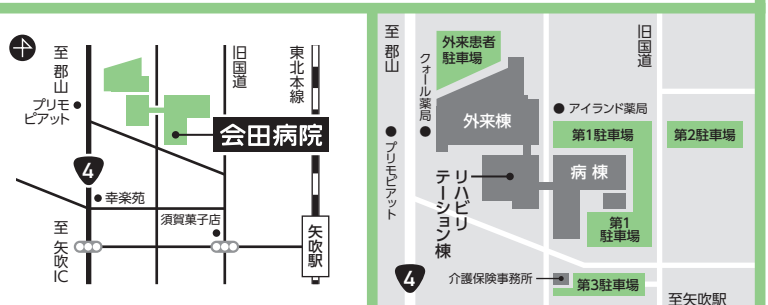
ご予約時間 月～金 13:00～16:30 | 土 9:00～12:00

ご予約はコチラ **0248-42-2142**

- ① ご予約は送迎前日の午後4時30分までにお願いします。
- ② 乗車時間はご指定いただけません。



アクセスと駐車場のご案内



外来診療担当について

外来診療担当は、当院のホームページにてご確認ください。院内で配布している「外来診療担当のご案内」をご覧ください。

[ホームページ]
<http://aida-hp.or.jp/attending/>



ご意見ご感想を募集中です

「あゆり」に関するご意見、ご感想を募集しております。特集してほしい内容や改善ポイントなど内容は問いません。宛先は下記の通りです。

[宛先] 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
公益財団法人会田病院 広報編集委員会
[メールアドレス] ahp@aida-hp.or.jp



当院は公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」審査の結果、機構が定める認定基準に達成していることが認められ、2017年3月3日付けで機能種別版評価項目 3rdG:Ver.1.1 の認定を受けました。

[発行] 公益財団法人会田病院
[編集] 広報編集委員会
[発行日] 2021年1月15日